

徳の安景が快き連判の折廻りも同く
る月より山形よりをあらわし義光後
に斜に悦ひあひ今との延行の如く
いふもさうひつゝ一應に取の家のよ一味
せしむ備前守もあつた然るに
春二月十日におくは一連安景高橋方
と返快と使者の後一より日程を延
言返すは安景返快と後を延

備前守と名をせてやうに弓矢の買加
なりせはぬやう大將の自業
を備載はるる備前守の自業なり
連判のものなりは是れせん中又也
言返し集りぬんすと言ふ曰

家来草刈備前守高橋石を延被
加備前入龜依有親者より石錢
に延被高橋依有親氏最茂